

103-204

問題文

- 感度(%) 特異度(%)

1.	80.0	98.0
2.	88.0	97.1
3.	90.9	95.2
4.	95.2	90.9
5.	98.0	80.0

解答

問204 : 3問205 : 1

解説

問204

測定の原因は抗原抗体反応です。ウイルス抗原があると、色のついた線が出ます。発色は、金コロイドや酵素反応などによります。

選択肢 1,2,4,5 は正しい記述です。

選択肢 3 ですが

コントロールラインとは、試験が正常に機能しているかを 確認するラインのことです。試料の展開方向、一番最後のラインです。つまり、本問の図であれば B のことを意味します。A の部分ではありません。

選択肢 4 にもあるように、例え A で発色が見られても、B の発色が認められない場合は 試験自体に何か不備があるかもしれないので 再測定を行います。

以上より、正解は 3 です。

問205

まず 感度 ですが、125 人インフルエンザのヒトがいて、検査をくぐりぬけた、つまり「陰性だったにも関わらず インフルエンザにかかっていたヒト」は 25 人なので、 $100/125 \times 100 = 80\%$ の感度です。よって、正解は 1 です。

ちなみに 特異度 とは「陰性を正しく陰性と判断する可能性」です。陰性患者 510 人中 500 人が 検査で陰性だったのだから、 $500/510 \times 100 \approx 98\%$ です。